



小泉 凡 氏

ハーリンとギリシャ

ギリシャへの誘い

入場
無料

西洋から東洋へ

平成25年

日時

11月10日日
14:00 ~ 16:00

熊本大学黒髪北キャンパス内

場所

化学実験場・階段教室

内容

●講演

「ギリシャへの誘い」
オープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーン

小泉 凡 氏 (島根県立大学短期大学部教授)
(ハーン曾孫)

●ハーン作品「雪おんな」の朗読

英語原文: アラン・ローゼン (放送大学客員教授)

日本語訳文: 矢部絹子 (元アナウンサー、熊本朗読研究会)

主催: 熊本アイランド協会 熊本八雲会

共催: 五高記念館友の会

協賛: 熊本銀行

後援 在日ギリシャ大使館 熊本大学 熊本スピリット発信協議会

熊本近代文学館 熊本大学小泉八雲研究会

NPO法人くまもと文化振興会 熊本日日新聞社 熊本放送

NHK熊本放送局 テレビ熊本 くまもと県民テレビ 熊本朝日放送

お問い合わせ先 (西川)

096-342-2305

ハーンとギリシャ

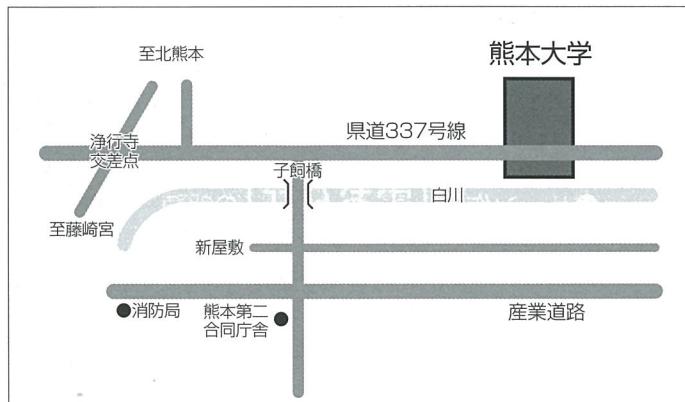
オープン・マインドの心のふるさと

ギリシャの海は目の醒めるような碧さとともに深い愁いをふくんでいます。目を水平線の方に向ければ島の輪郭は日射しに映えた幻影のようです。蒼い天蓋を横切る優雅な海鳥の滑空はさながら小粒な白い幻鳥です。ここはギリシャ神話に出てくる神々の故郷なのです。ここはホメロスの叙事詩『イリアッド』や『オデッセイ』の息づいている世界なのです。またここは建築美の殿堂、白亜のパルテノン宮殿が高々とそびえ、アポロンの神託のあるデルフォイの神殿があり、ミロのヴィーナスやポセイドン、テサロニケのニケなど造形の理想美が現れてきた処です。そして何よりもハーンの生地レフカダ島にはギリシャの女流詩人サッポーがいました。木々の緑豊かな山路を抜けたところにあるレフカダの白の断崖と真っ青な海はこのサッポーが入水したところです。

〈ギリシャへの誘い^{いざな}〉はさまざまなことを想起させてくれます。西洋の文化・文明に関わってその恩恵を古代ギリシャに負わないものはほとんどないと思われます。ギリシャ精神は理想主義的なものの見方と美意識がしっかりと根付き、長い人類の精神史の源流のひとつとなって今日に至っています。日本とギリシャをその深層において橋渡してくれるラフカディオ・ハーンのことはオープン・マインドの心とともに、さらに広く世界に知られ、継承されていくことを願うものです。



会場までのアクセス



熊本市中央区黒髪2丁目40-1

熊本大学黒髪北キャンパス構内図

